

頼もしく感じたものです。あいにく今年の状況を見るのができませんでしたが、昨年度に負けず劣らず面倒見の良さだったと聞いています。西南小の合言葉「だれかのために じぶんのために いっしょうけんめい」に違わぬ活躍です。それだけでなく、周りの期待を受け止めて頑張ることができる素直さは、西南小の子どもの良さとして様々な場面で見られます。SPC（西南パワークラブ）の子どもたちももちろんのこと、他でも、例えばカタルパの落葉を掃除しているとどこからともなく何人も集まってきて、素手で落葉をどんどん拾ってくれたり、図工の授業を見に行けば何を作っているのか詳しく説明してくれたり、担任の研究授業では一人残らず精一杯頑張って授業を盛り上げようとしたり、皆が心根のやさしさを素直に出せるのです。これは当たり前なことではありません。素晴らしいことなのです。

上の写真は五年生の集団宿泊の二日目の朝です。私は一日目の夕方から参加しました。一日目の活動は、とても積極的にそれぞれが活動できたことでした。何より良かったのが、午後のハイキング（ほぼ登山）でお互いに声を掛け合い、いつも以上に力が出せたことでした。午前中のニジマスつかみでも初体験の児童が多く、また、捕まえた魚をすぐにその場で焼いて食べることに抵抗感を感じた児童も少なくなかったようです。しかし、その多くは食欲には勝てず…。

夜の活動はチャレンジランキングという、いろいろな種目を班ごとにチャレンジしていく活動でした。私はジャンケン担当をしました。この一時間弱の活動で十年分ぐらいのジャンケンをしました。負け、

就学時健診では、来年の最上級生として、マンツーマンで五年生が次年度入学予定の新入生の面倒を見ます。現六年生もそれはそれは素晴らしい面倒見の良さで、とても頼もしく感じたものです。あいにく今年の状況を見るのができませんでしたが、昨年度に負けず劣らず面倒見の良さだったと聞いています。西南小の合言葉「だれかのために じぶんのために いっしょうけんめい」に違わぬ活躍です。それだけでなく、周りの期待を受け止めて頑張ることができる素直さは、西南小の子どもの良さとして様々な場面で見られます。SPC（西南パワークラブ）の子どもたちももちろんのこと、他でも、例えばカタルパの落葉を掃除しているとどこからともなく何人も集まってきて、素手で落葉をどんどん拾ってくれたり、図工の授業を見に行けば何を作っているのか詳しく説明してくれたり、担任の研究授業では一人残らず精一杯頑張って授業を盛り上げようとしたり、皆が心根のやさしさを素直に出せるのです。これは当たり前なことではありません。素晴らしいことなのです。

られない戦いでした。しかも、なぜか今の子どもたちは、あいこのタイムリングが合わないの、毎回「最初はグー！」から言う必要があります。何百回言ったでしょう。いつしか声も囁れていきました。疲れしましたが、ジャンケンの良さを感じました。お話が苦手な子ともコミュニケーションが取れずし、勝敗によっていろいろな表情を見せてくれました。

こうして充実した初日を過ごして、子どもたちは十時の消灯時間にはほとんどが眠りに落ちました。翌二日目は半日の活動ですが、いずれも活動を楽しむ姿が見られました。草そりの様子を見ていましたが、もう元気いっぱいに歓声を張り上げていました。

五年生について、気になることがないわけではありません。そもそも長所だけの学年なんてありません。改善して欲しい部分はもちろんありますし、もっと伸びて欲しいこともたくさんあります。今回は彼らの良さをすぐ感じたからこそ、課題の解決も難しくないと感じたのです。

今日は人権教育の公開授業研究会でした。本校の一年二組・三年二組・五年四組が授業クラスでした。多くの参観者の中、子どもたちは担任の意を汲み、精一杯考え、勇気を振り絞って発表し、友達の発表を真剣に聞く姿がありました。中でも五年生は友達と深く繋がり合おうとする姿が見られました。まだまだ残る幼さと無邪気さが見える中、五年生としての物事の理解力の向上や大人っぽさ、頼もしさが見え隠れした時間でした。まさに五年生の夜明けなのです。皆、朝日に何を拝んだのでしょうか。

5年生の夜明けぜよ

